

◆日本共産党は今年創立104年。暮らし・平和・人権 国民のためにブレずにはたります。

休日当番病・医院

7月5日(日)

- ◆内科 夜間・休日急病センター 旭町 32-0099
- ◆外科 アーク整形外科クリニック ときわ町 68-6111
- ◆歯科 いずみの歯科クリニック 川治町 76-0178

療時間：内科＝9時～翌朝7時、外科＝9時～17時、歯科＝9時～12時。本紙は毎週火曜日に編集のため、その後に休日当番医が変更になってもお知らせすることはできません。ご利用されるときには、あらかじめ電話でお確かめください。



法律相談



7月28日(火)
内田信也弁護士

(定員になり次第締め切ります)
日本共産党苦小牧地区委員会
苦小牧市見山町2-2-6 申込56-5002

しんぶん赤旗読者のための

日本共産党

民主苦小牧

発行 日本共産党苦小牧地区委員会

苦小牧市見山町2丁目2番6号 電話 56-5002 fax 56-5086

日本共産党のホームページ <http://www.jcp.or.jp>
日本共産党市議会ホームページ <http://jcp-tomakomai-shigidan.com/>
eメールアドレス commun@rose.ocn.ne.jp

訓練移転容認は沖縄の負担常態化に加担

市議会総合開発特委

小野寺議員

沖縄の負担軽減追及



ているのに頻発しており、民家が集中している嘉手納では絶対やってはいけない訓練で、日米合意を無視した運用と強い批判がだされていきました。1965年に沖縄読谷村でパラシュートを使いトレーラーを降下させていた際に落下させてしまい、帰宅途中の小学5年生の少女が下敷きになり死亡した事故があり、民家が密集する場所での訓練は避けるべきと、伊江島補助飛行場で訓練を行ってきた経緯があります。

苦小牧市議会の総合開発特別委員会は6月18日、2026年度の米軍再編にかかわる航空機訓練移転計画を10回程度実施されることを報告しました。日本共産党の小野寺幸恵議員は、この訓練移転でどのくらいの沖縄の負担軽減になるかたまたと、航空政策課長は、「本来嘉手納飛行場で行われる訓練が分散されるため、その分の負担軽減がはかれる」と従来の答弁を繰り返しました。

同特別委員会は昨年11月に沖縄視察を行い、北谷町では、限定的かつ小規模な訓練移転では必ずしも抜本的な負担軽減には至らないと報告されました。また嘉手納基地を利用したパラシュート降下訓練は《例外的な場合》と限定され

減を容認してきた本市のとりまき姿勢ではないか」と迫りました。

町田雅人副市長は、「沖縄の負担軽減が実感できないと言いうことは重く受けとめている。沖縄の負担軽減は、全国への訓練移転の他に、普天間基地の辺野古への移転やグアムへの訓練移転など複合的にはかられるべきだ。沖縄には過度な負担が集中していることから、不断の努力で根本的な負担軽減策に取り組むよう国に求めていく」と答弁しました。

小野寺委員は、「訓練移転に協力すればするほど、沖縄の負担を常態化することに加担することになるのではないかと強く批判しました。」

2007年に、市議会が全会派一致で、訓練移転に反対する決議をあげています。その内容は、航路下地域の騒音過重になること、事件・事故への懸念があること、周辺自治体への負担が増えることへの懸念です。小野寺委員は、「立場の違いはあっても、全会派が一致して決議をあげた経緯がある。当時の岩倉市長は、沖縄の負担軽減のための苦渋の決断と言って容認し

た。米軍再編に対する賛否は立場の違いはあるが、部品落下事故も増えていることから、市長自身も考え直す時期にあるのではないかと市長の認識をたどりました。

金澤俊市長は、「沖縄の負担軽減の受け止めについて検証を続けている。全国で訓練移転を行うことで本来沖縄に集中するはずの訓練が分散さ

児相苦小牧に一時保護機能

共産党の要望実現

鈴木知事は6月19日、道議会本会議で、虐待などを受けるといった児童を一時保護する機能を、室蘭児童相談所苦小牧分室に持たせるため、7月から市内の民間施設に児童2人分の枠で常時受け入れを委託することを明らかにしました。

東胆振と日高を所管する苦小牧分室管内の虐待対応件数は、室蘭児相全体の7割を占



昨年、道に一時保護機能を要望する森本市議員

核兵器禁止条約の批准を
大軍拡反対！
外交で平和を
日本共産党

一時保護機能 子どもに安心を

められています。一時保護機能は室蘭児相にしかなく定員は20人で、一時保護が必要な児童は室蘭まで移送しなければなりません。そのため、2021年に設置された苦小牧分室に機能を持たせる要望が開設計画を持っていました。

日本共産党苦小牧市議団(小野寺幸恵団長)は、毎年道庁に赴き、一時機能設置の交渉を行い、必要性を訴えてきました。また東胆振1市4町で構成する苦小牧地方総合開発期成会や民生委員児童委員協議会なども道に要望していました。

鈴木知事は、「北海道の子どもたちが健やかに成長でき、誰もが安心して子育てできる地域社会の実現に向け、全庁をあげて取り組みを進めたい」と強調しました。

国民皆保険の理念崩壊する

富岡市議

OTC類似薬負担増を批判



制度があるか。国民皆保険制度が崩壊してしまう」と指摘し、保険給付の見直しに対する市の認識をただしました。

健康福祉部長は、「国は、現役世代の保険料負担を含む国民負担の軽減を目指し、持続可能な社会保障制度を目的とした取り組みの一つとして、OTC類似薬の保険給付の見直しを行っているところ」と答弁。

医師が処方する医療用医薬品のうち市販薬と同等の効能がある「OTC類似薬」について、患者負担増となる保険給付の見直しが2027年3月から実施されます。薬剤費など療養の一部を保険外とし患者に《特別の料金》とする別途負担を押しつける仕組みです。OTC類似薬のうち77成分1100品目の薬剤費の25%を保険給付外とします。

6月市議会的一般質問で、日本共産党の富岡隆議員は、「今まで医師は患者に必要と判断して薬を出していたが、これからは個人が薬局で薬を買うことになる。こんな医療

赤旗日刊紙を友として

月3497円
購読をお勧めします

「憲法9条改悪に反対する請願署名」に「協力をお願いします」。

性疾患を抱えている方、低所得者、医薬品の長期使用必要と考える方などへの配慮措置についても検討がすすめられており、国の議論を注視していきたい」と答えました。

富岡議員は、「大変な中身をもった見直しだ。行政としても患者負担の撤回を求めている」と迫りました。

町田雅人副市長は、「《特別の料金》による患者負担増を実施しても、軽減できる社会保険料は1人当たり月数十円程度であり、患者負担増に比べて社会保険料負担軽減効果は少ないのではないかと」と答弁。

ぬくもり灯油の資産要件 廃止を

小野寺市議

支援の間口を広げて

ぬくもり灯油事業は、65歳以上の世帯所得世帯を対象に1万円を支給する事業です。年間500世帯分を予算化していますが、実際には300世帯を割った支給であり、その要因の一つが、金融資産(預金など)1人50万円以下という要件があるからです。

6月市議会、日本共産党の小野寺幸恵議員は、ぬくもり灯油事業の資産要件を今年の冬から廃止し、支援の間口を広げるべきと提案。この資産要件は、市営住宅の家賃減免の要件を参考にしたもの、住宅課は「社会情勢にそぐわない」「実務上の調査に

消費税減税 インボイス廃止

日本共産党

ご意見があることは承知している。国において、配慮措置が検討されており、国の方針や他自治体の動向なども踏まえながら今後の対応について慎重に見極めていきたいと考えている」と答えるにとどまりました。

富岡議員は、「市町村会を通じてでも、政府に撤回を申し入れてほしい」と繰り返し強く要望しました。

健康福祉部長は、「ぬくもり灯油事業は開始から10年を経過しており、燃料高騰や中東情勢の影響もあることから、資産要件の妥当性を見極めながら、本事業を続けたい」と答弁しました。

小野寺議員は、「間口を広げて、たくさんの方に利用してもらうようにすべきです」と再度強調しました。



みんなの力で 児相一時保護機能実現

こんにちは
小野寺ゆきえです

嬉しいことに室蘭児童相談所苦小牧分室に、一時保護機能が設置されることになりました。室蘭児相管内のうち、苦小牧での虐待事案などは7割を占めています。ただ分室には一時保護機能がないため、子どもを緊急に保護する場合は、室蘭まで行かなければならず、そのため東胆振や日高地域からも、苦小牧に一時保護機能があることが望まれていました。

苦小牧分室は2021年1月に設置されました。それまでは、室蘭児相の職員さんが月2回苦小牧に来て、相談業務を行っていました。虐待相談が増加し、月2回では追いつかず、私たちは業務の充実を訴え、苦小牧市役所に常駐するようになりました。

子どもたちの安全のためには、迅速に手厚く対応する必要があります。苦小牧分室の設置が必要で、共産党市議会も、分室の設置を北海道に求め、市議会でも超党派で訴え、民生委員さんたち

の運動もあり、やっと実現したのでした。分室が設置されてまもなく、市議会議員有志で分室の職員さんと懇談。職員さんは、分室ができたことで抜群に機能が強化された反面、一時保護所がないことが課題だと言います。当時の市担当部長は、「一時保護所があるのが本所で、ないのが分室だ」といって、分室への設置は不可能という姿勢でした。

私たちは、毎年道庁へ行き一時保護所の設置を求め、同時に市長に対し北海道に要請するよう訴えてきました。昨年は、東胆振と日高地域の市と町、各議会での期成会や、民生委員協議会からも道に要請していました。「不可能」から出発しましたが、多くの共同の力で実現したのです。

本日は、児相も一時保護所もなくても、良い社会にすることが重要だと思えます。子どもたちの笑顔を守るためには、社会が明るく元気になることだと思います。

小野寺幸恵(おのでら・ゆきえ)日本共産党苦小牧市議会議員・市議団長